

天降川の思い出

土呂中学校二年 川 添 那奈子

私は、鹿児島県を流れる天降川が大好きです。夏休みに帰省のたびに訪れた天降川のそばらしさを一人でも多くの人に知って欲しいと思います。作文を書いてみることにしました。

天降川と書いて、あもりがわと読みます。

鹿児島県の隼人町の祖母宅の近くを流れる穏やかな流れの川で、古くから地元の人に愛されて

いる川です。小さい頃、私は祖母に何度

も川の名前を「あもりがわだよ」と教えてもらったのに、私は名前を覚えられず、「もりがわ」と覚えていたというエピソードがあります。今、考えると笑えるのですが、あもりがわときくと、自然に恵まれた天降川がすぐに思い浮かびます。

私が、天降川のこととて、一番思い浮かべる出来事は鮎釣りです。たくさん釣りが生息している、夏には、多くの釣り人でにぎわいます。幼い頃、私は、祖母と父と姉と一緒に、

鮎釣りをしました。すぐに釣れるかと思って最初はしゃいでいました。なかなか釣れなかった。思い出があります。自分では、釣ることのできなかつた鮎ですが、家族で鮎釣りをしたことはしっかりと覚えていきます。釣つた鮎を祖母は上手に調理してくれ、天然鮎の塩焼きはこんなにおいしいのかと感動したのを覚えていきます。

夏休みに帰省する一番の楽しみは、日当山の夏祭りでした。祖母の作った浴衣を着て、

姉と一緒に盆踊りに参加し、夏の絵日記に思い出を書いたのを今でも覚えていきます。お祭りの最後に天降川からみえる打上花火は、とてもきれいでした。人々を笑顔にしてくれる花火、私の心に夏の思い出として、しっかりと記憶され、心に刻まれています。

祖母が亡くなつてから、鹿児島に帰省する機会も少なくなりました。祖母との思い出がつまな天降川の良さ、美しさ、すばらしさを一人でも多くの人に知って欲しいです。